

(案)

2019年8月6日  
 国立情報学研究所  
 学術コンテンツ課

### 図書館総合展フォーラム企画(オープンアクセス枠)

#### ○ 開催日時及び場所

2019年11月12日(火) 13:00-14:30 パシフィコ横浜

#### ○ タイトル(仮)

「オープンアクセスの今とこれから。ステークホルダーの戦略とともに考える」

#### ○ 概要

研究データを含めた研究プロセスのデジタル化と共有に取り組む、オープンサイエンスが進展しつつある中で、論文のオープンアクセスについても、学術出版社によるオープンアクセスジャーナルの広がりやヨーロッパを中心とした Plan S による即座公開の動き、さらには「ハゲタカジャーナル」への懸念等、注視すべき動向や取り組むべき課題が山積している。主要な公開手段を海外のプラットフォームに依拠する分野や、国際的な共同研究に参画する国内研究者も多く、国際的な連携も踏まえて、こうした動向や課題に対応することが必至である。

国立情報学研究所においては、2003年より活動を続けてきた国際学術情報流通基盤整備事業(SPARC Japan)運営委員会が、2019年4月に学術情報流通推進委員会に転換し、オープンアクセス・オープンサイエンスに係るステークホルダーとの連携、国内外の学術情報流通の動向や実態の把握、それらに基づいた学術情報の公開や利活用に係る戦略の検討や調整、アドボカシー活動等を行うこととなった。

本フォーラムでは、この学術情報流通推進委員会に集まったグリーンやゴールド等の OA に関わるステークホルダー(JUSTICE, JPCOAR, JST 及び NII)が一堂に会して、現在の学術情報流通に係る動向を俯瞰しながら、オープンアクセスのあり方と今後の日本の取るべき戦略を議論する機会としたい。なお、SPARC Japan セミナーの「特別編」と位置付けて開催する。

#### ○ プログラム

		ご講演内容	登壇者	備考
13:00-13:05	5分	はじめに		
13:05-13:17	12分	SPARC Japan:学術情報流通推進委員会について		
13:17-13:29	12分	オープンアクセスに関する最近の動向について		ハゲタカ出版, Plan S 等を含む?
13:29-13:41	12分	JPCOAR:JPCOAR オープンアクセスリポジトリ戦略 2019～2021 について		
13:41-13:53	12分	JUSTICE:OA2020 ロードマップについて		論文公表実態調査も含むか?
13:53-14:05	12分	JST:JST におけるオープンアクセスについて		
14:05-14:30	25分	質疑応答とまとめ		

(案)

○ 登壇者(候補)

- 武田 英明教授 (国立情報学研究所)
- 林 和弘様 (科学技術・学術政策研究所 科学技術予測センター)
- 江川 和子様 (オープンアクセスリポジトリ推進協会(JPCOAR))
- 市古 みどり様 (大学図書館コンソーシアム連合(JUSTICE))
- 小賀坂 康志様 (科学技術振興機構(JST))

○ 参考

2019年度の図書館総合展フォーラム(国立情報学研究所主催)は以下のとおり

- 「大学における研究データ管理に点火する～JANUL meets AXIES via NII」
- 「オープンアクセスの今とこれから。ステークホルダーの戦略とともに考える」
- 「これからの学術情報システムの在り方(2019)」